

平成25年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成24年度対象)

平成25年11月
人吉市教育委員会

目 次

〈 は じ め に 〉	1
人吉市教育委員会委員名簿（平成25年11月27日現在） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	2
(1) 教育委員会の概要	2
教育委員会の目的	2
人吉市教育委員会委員（平成24年度の教育委員）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
教育委員会の活動状況	2
教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（平成24年度実績）	3
② 審議状況	3
教育委員の活動	3
① 教育委員の所管施設訪問状況	3～5
(3) 評価・課題	6
2 点検評価の目的	7
3 学識経験者の知見の活用	7
○ 学識経験者	7
4 点検評価の対象	8
○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	8
5 点検評価の結果	8
(1) 点検評価シートの見方	9～10
(2) 事業の評価基準	11
(3) 総合評価基準	11
(4) 点検評価シート	
目次	12
学校施設の耐震化・大規模改修事業	13～14
夏休み・放課後パワーアップ教室	15～16
特別支援教育支援員配置事業	17～18
食育推進事業	19～20
公民館事業	21～22
人吉駅伝大会	23～24
史跡人吉城跡保存整備事業	25～26
人吉城歴史館特別展	27～28
犬童球溪頭彰音楽祭	29～30
移動図書館巡回事業	31～32
〈 教 育 方 針 〉	33

<はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成24年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会委員名簿

(平成25年11月27日現在)

委員長	山 本 泰 弘
委員 (職務代理者)	宮 山 惇
委員	三 倉 範 子
委員	尾 方 篤
委員 (教育長)	末 次 美 代

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

<教育委員会の目的>

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市教育基本方針を大きな柱とし、人吉市教育目標を定め、さらに学校教育、社会教育、文化振興、スポーツ振興の観点から努力目標を掲げ、教育委員会委員を中心に高い使命感を持って、市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

<人吉市教育委員会委員（平成24年度の教育委員）>

役職名	氏名	就任	任期満了
委員長	山本 泰弘	平成10年4月10日	平成26年4月9日
委員長（職務代理者）	馴田 順子 （平24.12.31満了）	平成21年1月1日	平成24年12月31日
	宮山 惇 （平25.1.1就任）	平成21年10月1日	平成25年9月30日 （平25.10.1再任）
委員	末次 美代	平成23年7月1日	平成27年6月30日
委員	三倉 範子	平成25年1月1日	平成28年12月31日
委員（教育長）	堀 秀行	平成21年7月1日	平成25年6月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

<教育委員会の活動状況>

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

平成24年11月には、宮崎県日南市、都城市で教育委員としての行政視察研修を行った。歴史文化遺産に関する先進的な取り組みを見聞し、課題や悩みを共有することができた。「美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし」を目指したまちづくりを進めるためには、他自治体の先進的な施策を参考に、本市の風土文化に合わせながら事業の企画、推進に取り組んでいくことが重要であり、歴史文化遺産と地域資源の価値を広く再認識できるような働きかけが肝要である。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年14回開催し、審議事項31件、報告・協議等54件について審議・協議を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

<教育委員会会議>

①会議の開催状況（平成24年度実績）

会議	開催数	傍聴者数
定例会	12回（月1回）	13人
臨時会	2回	0人

②審議状況

（ア）付議案件数

議案	31件
報告・協議等	54件

（イ）会議に付された主な案件

- ・人吉市教育振興基本計画の策定について
- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・教育方針について
- ・後援願の承認について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算について
- ・人吉市学校運営協議会委員の任命について

（ウ）協議事項

- ・新組織機構案について
- ・教育委員会の運営状況について

<教育委員の活動>

①教育委員の所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区分	対象	期日	教育委員出席状況
小学校訪問	6校	平成24年6月～11月	延べ30人
中学校訪問	3校		延べ15人

(イ) 他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員 出席状況
教職員辞令伝達式	平成24年4月1日	4名
小中学校入学式	平成24年4月	延べ8名
人吉市勤労青少年ホーム講座開講式	平成24年4月12日	1名
人吉市民早起きソフボール大会開会式	平成24年4月24日	1名
人吉市子ども会育成連絡協議会総会	平成24年4月25日	1名
人吉城歴史館特別展	平成24年4月28日、10月5日	延べ9名
人吉市スポーツ推進委員協議会総会	平成24年5月1日	1名
おどんな日本一全国少年剣道大会	平成24年5月3日～4日	延べ9名
放課後パワーアップ教室開講式	平成24年5月8日	5名
中学校体育大会(2校)	平成24年5月13日	2名
大畑小・三中合同体育大会	平成24年5月20日	1名
熊本県市町村教育委員会連絡協議会総会	平成24年5月21日	2名
人間国宝「六代山勢松韻」人吉公演	平成24年5月25日	1名
小学校運動会(4校)	平成24年5月27日	4名
人吉市民早起きソフボール大会閉会式	平成24年5月29日	1名
第1回校区公民館長会議	平成24年5月30日	1名
人吉市学校給食センター運営委員会 常任委員会・総会	平成24年7月18日 平成25年3月18日	延べ2名
人吉球磨児童による童話発表大会	平成24年7月22日	
夏休みパワーアップ教室開講式	平成24年7月23日	5名
夏休みパワーアップ教室閉講式	平成24年7月31日	5名
人吉市・指宿市子ども会交流会	平成24年8月2日～3日	1名
アドベンチャースクールカヌー教室	平成24年8月9日	1名
人吉市子ども会球技大会	平成24年8月12日	1名
人吉市青少年育成市民会議5団体交流会	平成24年9月21日	1名
第2回校区公民館長会議	平成24年9月26日	1名
人吉市学校給食センター見学・試食	平成24年9月27日	5名
おどんな日本一！人吉のど自慢大会	平成24年9月30日	1名
小学校運動会(1校)	平成24年10月1日	1名
伊佐市・人吉市親善交流剣道大会	平成24年10月6日	3名
第26回九州都市教育長協議会定期総 会並びに研究大会(宮崎市)	平成24年10月17日～18日	1名
人吉球磨総合美展	平成24年10月20日	2名
第41回熊本県人権教育研究大会	平成24年10月20日	1名
ひとよし花まる学園大学開講式	平成24年10月27日	2名

人吉文化祭	平成24年11月3日	2名
犬童球溪頭彰音楽祭(碑前祭・学校発表会)	平成24年11月9日	4名
犬童球溪頭彰音楽祭個人コンクール本選	平成24年11月10日	1名
教育委員行政視察研修 (宮崎県日南市、都城市)	平成24年11月21日～22日	5名
犬童球溪頭彰音楽祭音楽の夕べ	平成24年11月25日	1名
人吉市子ども会サッカー大会	平成24年11月25日	1名
人吉駅伝大会	平成24年12月9日	1名
第3回校区公民館長会議	平成24年12月19日	1名
アドベンチャースクール「水泳教室&焼き芋作り」	平成24年12月23日	1名
人吉市成人式	平成25年1月3日	5名
平成24年度市町村等新任教育委員研修会	平成25年1月28日	1名
平成24年度熊本県市町村教育委員大会	平成25年1月28日	5名
人吉球磨学校給食研究協議大会	平成25年2月8日	1名
平成25年度奨学生選考委員会	平成25年2月12日	1名
ひとよし春風マラソン大会	平成25年2月16日～17日	述べ6名
熊本県知事との教育懇談会	平成25年2月20日	1名
図書館まつり(読書感想画コンクール表彰式)	平成25年2月23日	5名
放課後パワーアップ教室閉講式	平成25年3月12日	4名
人吉市勤労青少年ホーム講座閉講式	平成25年3月17日	1名
第4回校区公民館長会議	平成25年3月26日	1名
小・中学校卒業式	平成25年3月	述べ8名

(3) 評価・課題

①教育委員会内の問題点や課題に対する認識を深めることを目的に、教育委員会会議以外にも独自に教育委員同士での意見交換や議論の場を持ち、情報を共有しながら課題解決に努めた。また、今年度も教育委員と市長で懇談の機会を設け、教育委員会と市が目指す方向性を確認するとともに整合性を図りながら教育行政を展開した。

②平成24年に策定された第5次人吉市総合計画のまちづくりの理念のもとで、人吉市教育の基本理念や目標、具体的施策を示す「人吉市教育振興基本計画」（平成25年度～28年度）の策定に向けて積極的に取り組むことができた。実情に即した計画とするために、市民へのアンケート調査やパブリックコメント募集を行い、本市の現状と課題を明確にしながら目指すべき方向性を定めている。

③学校施設耐震改修補強工事は、人吉西小学校を最後に学校耐震化率100%を達成し完了したところである。なお、老朽化している給水管や受水槽などの給水設備改修工事、及び懸案事項であった小学校3校のプール改築工事に着手することができた。施設の長寿命化を図り、児童・生徒に安全で快適な学習空間を提供するため、国の補助等も有効に活用しながら、引き続き計画的な改修を行う必要がある。

④いじめの早期発見、早期解決を図るため、各小中学校に保護者、校区の方々も構成委員として「学校いじめ対策委員会」を設置し、その学校を支援するために、人吉っ子アドバイザー、家庭児童相談員、民生児童委員、保健師、警察署員で構成する「いじめ対策サポートチーム」を教育委員会内に編成した。より一層各学校との連絡を密にするよう努め、いじめ問題に学校と共に取り組み、児童・生徒、保護者への支援を行っていく。

⑤新しい生涯学習のモデルとして地方自治体（人吉市）と県（熊本学園大学）、国（中小企業大学校）が連携した「ひとよし 花まる学園大学」を開設し、多様な学習機会の提供に努めた。本事業のほか、家庭教育学級や公民館活動に取り組んでいるが、今後も市民の関心を集めるための工夫を重ねながら、積極的に広く働きかけを行い、学習の成果や人材を地域や学校、家庭等で生かすための仕組みづくりを進めていくことが求められている。

2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

○学識経験者

長船 法文（おさふね のりふみ）氏 市PTA連絡協議会顧問
黒木 明子（くろき あきこ）氏 元高等学校教諭
神瀬 文夫（こうのせ ふみお）氏 元教育次長

4 点検評価の対象

平成25年度に点検評価を行う事業は、平成24年度の人吉市基本方針に基づき教育委員会が実施した主要な10事業としました。

○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点 検 及 び 評 価 を 行 う 事 業
教 育 総 務 課	学校施設の耐震化・大規模改修事業
学 校 教 育 課	夏休み・放課後パワーアップ教室
	特別支援教育支援員配置事業
	食育推進事業
社 会 教 育 課	公民館事業
	人吉駅伝大会
歴 史 遺 産 課	史跡人吉城跡保存整備事業
	人吉城歴史館特別展
市 民 文 化 課	犬童球溪顕彰音楽祭
	移動図書館巡回事業

5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら、平成24年度までの行政評価システムに沿って、4項目の観点から事業評価を行い、今後の方向性を示す点検評価を行いました。

平成25年度点検評価シート

(10事業)

(1)点検評価シートの見方

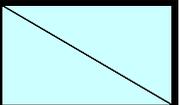
点検評価シート (評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	教育委員会が行った事務事業名													
2 担当部課名	担当課名				担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		事業の目的に合致した第5次総合計画における政策名称			事業の目的に合致した第5次総合計画における施策名称									
4 誰のために行うか〔受益者〕	誰のために行う事業なのか													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか(意図・ねらい・コンセプト)													
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	事業の全体概要と平成24年度の進捗状況													
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	24年度事業実施における改善策													
8 活動指標	指標名		単位		説明			目標値の設定内容						
	事業の実施内容を意識しながら、実施した事業量(活動量)を表す指標				指標の補足説明(指標の算出式等)			学校施設耐震化年次計画に基づき実施した棟数						
9 成果指標	事業を実施する事によって生じる市民の満足度を表す指標				同上			同上						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)		H24年度(実績)		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度	
		実績値			上に設定した指標の23年度の目標値と実績値		25年度以降の目標値については仮置きの数値であって正式な数値ではありません。		—		—		—	
		<達成度>	—						—		—		—	
	(2) 成果指標	目標値			上に設定した指標の目標値と実績値				—		—		—	
		実績値							—		—		—	
		<達成度>	<0%>						—		—		—	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～													
	総事業費													
	千円													
	合計		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		0千円	
	財源内訳	① 国庫補助金												
		② 県補助金												
③ 起債														
④ その他														
⑤ 一般財源		0		0		0		0		0		0		
12 活動一単位当たりのコスト	—		—		—		—		—		—			

(1) 点検評価シートの見方

<p>平成25年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容</p>	<p>評価の結果において明らかになった問題点や改善する必要が認められた事項に対する今後の具体的な改善策等の案</p>		
<p>14 平成26年度以降の事業の方向性</p>	<p>方向性</p>	<p>チェック</p>	<p>左の「方向性」を選択した理由</p>
	<p>①拡大</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>評価の結果を踏まえて、平成26年度以降における当該事業の「方向性」及び「その方向性を選択した理由」</p>
	<p>②現状維持</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>③縮小</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>④廃止</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>⑤完了</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	
	<p>⑥移管</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	

<p>学識経験者の意見</p>	<p style="text-align: center;">教育に関し学識経験を有する者の意見</p>
-----------------	--

<p>事業の評価</p>	<p>必要性</p>	<p>有効性</p>	<p>達成度</p>	<p>効率性</p>	<p>総合評価</p>	
	<p>教育委員会における事業評価と総合評価(評価基準についてはP11のとおり)</p>					
<p style="text-align: center;">教育委員会における意見</p>						

(2) 事業の評価基準

	評 点				
	4	3	2	1	0
必要性	(事務事業に対する市民ニーズ・妥当性・緊急性について)				
	行政が関与する事業で妥当性も緊急性もある	行政が関与すべき事業で妥当性はあるが緊急性はない	行政が関与すべき事業で妥当性はないが緊急性はある	行政が関与すべき事業だが妥当性も緊急性もあまりない	行政が関与する必要はない
有効性	(上位施策の目的達成に対する事務事業の貢献度について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	
達成度	(成果及び事業の実績の目標に対する達成状況や満足度について)				
	指標が適切で目標どおり達成している	概ね達成している	あまり達成していない	目標、計画値の設定が曖昧。実績値を把握していない	
効率性	(費用対効果としてコスト改善について)				
	高い	やや高い	やや低い	低い	

(3) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容
A	計画どおりに事業を進める（拡充を含む）ことが適当（現状どおり管理・運営を進めることが適当）
B	事業の進め方の改善の検討（利用率向上等の改善の検討）
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討（施設運営主体の見直しの検討）
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討（休・廃止を含めた施設のあり方の検討）

(4) 点検評価シート（P 1 3～P 3 2）

目 次

平成25年度 点検及び評価

- 1、学校施設の耐震化・大規模改修事業(教育総務課)…… 13～14
- 2、夏休み・放課後パワーアップ教室(学校教育課)…… 15～16
- 3、特別支援教育支援員配置事業(学校教育課)…… 17～18
- 4、食育推進事業(学校教育課) …… 19～20
- 5、公民館事業(社会教育課) …… 21～22
- 6、人吉駅伝大会(社会教育課) …… 23～24
- 7、史跡人吉城跡保存整備事業(歴史遺産課) …… 25～26
- 8、人吉城歴史館特別展(歴史遺産課) …… 27～28
- 9、犬童球溪顕彰音楽祭(市民文化課) …… 29～30
- 10、移動図書館巡回事業(市民文化課) …… 31～32

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	学校施設耐震化・大規模改修事業													
2 担当部課名	教育総務課						担当者名			—				
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称					
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実					
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内各小中学校の児童・生徒、教職員及び学校施設を利用する一般市民													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	大規模地震に耐え得るように学校施設を耐震化し、老朽化している施設内部の大規模な改修を行うことにより、安全で安心な教育環境の整備と災害時の避難場所としての機能強化を図るもの。													
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	<p>学校施設耐震化については、平成17年度から優先度調査、二次診断、実施設計、補強工事の順に事業を進めている。平成24年度においては、23年度からの繰越予算にて人吉西小学校管理特別教室棟の耐震改修補強・大規模改修工事、及び低学年棟の大規模改修工事を実施し、学校耐震化率は100%を達成した。さらに、残りの教室棟については、交付金の決定を受けて、大規模改修工事に取り掛かった。また、東間小・大畑小・西瀬小の老朽化した給水設備の改修工事、人吉西小・東間小・中原小のプール改築工事についても、交付金の決定を受けたことから、事業に着手したものである。 ※11 事業年次計画は予算ベース</p>													
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	<p>学校施設の耐震改修補強工事は、人吉西小学校を最後に100%となり完了したところである。24年度からは、老朽化している給水管や受水槽などの給水設備改修工事に着手したところである。また、懸案事項であった小学校3校のプール改築工事に着手することができた。</p>													
8 活動指標	指標名			単位	説明				目標値の設定内容					
	耐震工事実施棟数			棟	当該年度で実施予定棟数				平成24年度までに事業完了するための計画した棟数					
9 成果指標	学校耐震化率			%	(耐震化実施棟数+改修の必要がない棟数)÷全棟数				全棟数のうち耐震性がある棟数の割合					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度						
		実績値	1	1	—	—	—	—						
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—						
	(2) 成果指標	目標値	100	100	—	—	—	—						
		実績値	100	100	—	—	—	—						
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—						
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	~		耐震改修	7,549	施設改修	166,530	施設改修	38,849	耐震改修	5,000	耐震改修	100,000	施設改修	135,000
	総事業費		施設改修	66,262	給水設備	60,840	給水設備	79,047	施設改修	20,000	施設改修	5,000		
					プール改築	387,845			給水設備	60,000	給水設備	30,000		
	合計			73,811千円		615,215千円		117,896千円		85,000千円		135,000千円		135,000千円
	財源内訳	① 国庫補助金		27,508		187,483		24,999		26,000		43,000		43,000
		② 県補助金												
		③ 起債		34,700		373,300		53,900		44,000		69,000		69,000
		④ その他												
		⑤ 一般財源		11,603		54,432		38,997		15,000		23,000		23,000
12 活動一単位当たりのコスト			73,811.0千円			615,215.0千円								

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	平成24年度をもって学校施設耐震化は完了したものの、昭和40年代から50年代にかけて建築された学校施設の老朽化は著しく進行しており、25年度においては前年度からの人吉西小学校の大規模改修工事、老朽化した水道管や受水槽などの給水設備の改修、また、国の経済再生対策事業を活用した3小学校のプール改築を実施しているところである。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	学校施設耐震化事業のうち、構造部材の補強を行う耐震改修補強工事は完了したものの、校舎本体に付属する非構造部材(特に体育館の照明器具やバスケットゴールなど)の耐震対策工事を早急に行う必要がある。昭和40年代から50年代にかけて建築されているため、給水設備や電気設備、また校舎の屋上防水を含めた内外装は非常に老朽化している。また、トイレについても大規模改修工事に付随して改修を行ってきたが、災害時に避難所となる学校のトイレについてはバリアフリー化、便器の洋式化を今後においても引き続き進めていきたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後においても、補助事業を積極的に取り入れて老朽化した施設の整備を進めてほしい。 ・ 電灯のLED化を今後計画しておくべきではないか。節電対策も考えてほしいと思う。 ・ 学校施設の老朽化は授業にも支障があるし、地震時にも災害に繋がるので改修が急がれる。取り急ぎ必要な施設はこまめにチェックして補強して行ってほしい。 ・ トイレ等のタイルの破損など危険を伴う箇所もある。洋式化も含め、早急に対応願いたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
<p>学校施設耐震化事業のうち、構造部材の補強を行う耐震改修補強工事については完了したが、今後は校舎本体に付属する非構造部材(体育館照明やバスケットゴールなど)の耐震対策が急務である。また、給水設備、電気設備等についても老朽化が進んでおり、安全安心な学習環境と避難所としての機能を確保できるよう、引き続き国の補助金等を活用しながら改修事業を行っていく必要がある。</p>						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	夏休み・放課後パワーアップ教室												
2 担当部課名	学校教育課						担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市内小学校3年生(夏休み)、4・5・6年生(放課後)												
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	市内小学校3・4・5・6年生の基礎学力の定着と向上を図り、学習意欲を高めたい。												
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	教員免許を持つ学習サポーターと保護者・地域住民などの学習サポーター補助が、夏休みパワーアップ教室において、夏休み期間に7日間、1日につき2時間、市内の全小学校3年生の希望児童222人を対象に指導した。また、放課後パワーアップ教室において、4月から翌年3月までの期間、放課後1時間を活用して、4年・5年・6年児童合計417人を対象に指導した。												
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	夏休みパワーアップ教室に加え、年間を通して実施する放課後パワーアップ教室の開講に伴い、受講児童が増加した。より質の高い講座にするため学習問題の精査を行うとともに、学力充実支援員を継続して7人雇用し、その準備・運営が円滑に行われるよう定期的に連絡会議を開催するなど強化に努めた。												
8 活動指標	指標名			単位	説明			目標値の設定内容					
	学習日数			日	計画された開催日数			参加者全員の出席すべき総日数					
9 成果指標	参加子ども満足度			%	参加した子どもアンケートによる満足度			85%					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度					
		実績値	8,145	18,000	15,520	14,700	14,700	14,700					
		<達成度>	7,740	12,904	—	—	—	—					
	(2) 成果指標	目標値	<95.03%>	<71.69%>	—	—	—	—					
		実績値	85	85	85	85	85	85					
		<達成度>	89	85	—	—	—	—					
		<104.71%>	<100.00%>	—	—	—	—						
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	H23 ~ H28		報酬	1,837	報酬	9,120	報酬	9,240	報酬	9,240	報酬	9,240	
	総事業費		社会保険料	227	社会保険料	1,412	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	社会保険料	1,440	
	55,798 千円		需用費	135	需用費他	313	需用費他	313	需用費他	313	需用費他	313	
	合計		2,064千円		10,667千円		10,993千円		10,993千円		10,993千円		
	財源内訳	① 国庫補助金											
		② 県補助金											
		③ 起債											
		④ その他											
		⑤ 一般財源		2,064		10,667		10,993		10,993		10,993	
12 活動一単位当たりのコスト	0.3千円		0.8千円										

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	学力充実支援員の資質等の向上を図るために研修等を実施し、また、学習サポーター及び学習サポーター補助の数の充実を図り、それぞれの子どもに即したきめ細かい指導を行っている。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	パワーアップ教室の目的を達成するために、学習サポーター・学習サポーター補助及び学力充実支援員との協議や、受講児童及び保護者のアンケートを実施して、より安定的に、充実した運営を図るための努力を行っているところであることから現状維持が好ましい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見

- ・ パワーアップ教室を実施したことによる成果を数値等で示さないと、学習サポーターの方々も教える楽しみがないのではないか。やり甲斐という観点からも何か方法について検討してほしい。
- ・ 前年と比較した場合、成果は上がっているとのことなので、今後においても継続してほしい。
- ・ 昨年度よりも受講児童が増加しているということは、この支援が必要とされているということである。特に、学習サポーターの数の充実が課題であるが、保護者の方の協力が得られたらと思う。
- ・ 学習サポーター補助の人材不足について、PTAとの連携を図り保護者の協力を得るようお願いしたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A

受講児童や保護者からの満足度、期待度の高い本事業は、基礎学力の定着に大変有効である。今後、引き続き継続的に実施するためには、不足する学習サポーター等のスタッフの確保と安定的な運営に努める必要がある。

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	特別支援教育支援員配置事業															
2 担当部課名	学校教育課						担当者名			—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称							
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実							
4 誰のために行うか〔受益者〕	小中学校の児童・生徒及び教職員															
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	発達障がい等の様々な障がいのある児童・生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員を学校に配置することにより、特別支援教育の充実を図りたい。その結果、学級担任の負担軽減に伴い他の児童へも配慮した安定した学級経営をめざしたい。															
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	特別支援教育支援員は、学校長の指揮監督の下に担当教諭と協力し、発達障がい等のある児童・生徒に対して、学校生活上の介助・学習指導上の支援等を行っている。また、対象となる児童・生徒は年々増加傾向にあることから、支援員数を確保し、人吉東小学校に3人、人吉西小学校に4人、東間小学校に2人、大畑小学校に1人、西瀬小学校に2人、中原小学校に3人、第三中学校に1人の計16人を配置することにより、きめ細かな支援が可能となった。勤務条件は年220日以内、週5日以内の29時間以内とした。															
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を更に充実させ、児童・生徒の個に応じた対応ができるよう、資質向上をめざした特別支援教育支援員の研修会の内容を検討し回数を増やした。															
8 活動指標	指標名			単位		説明				目標値の設定内容						
	特別支援教育支援勤務日数			日		特別支援教育支援員の必要度を測定				勤務日数上限220日とした						
9 成果指標	—			—		—				—						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値		H23年度(実績)		H24年度(実績)		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		
		実績値		3,520		3,520		3,300		3,300		3,300		3,300		
		〈達成度〉		<98.35%>		<97.27%>		—		—		—		—		
	(2) 成果指標	目標値														
		実績値		—		—		—		—		—		—		
		〈達成度〉		<0%>		<0%>		—		—		—		—		
11 事業年次計画	事業の期間			事業内容		事業費		事業内容		事業費		事業内容		事業費		
	H23 ~ H28			報酬		20,778		報酬		20,544		報酬		19,800		
	総事業費			社会保険料		3,153		社会保険料		3,207		社会保険料		3,085		
	138,949 千円			旅費		9		旅費		9		旅費		9		
	合計			23,931千円		23,751千円		22,894千円		22,894千円		22,894千円		22,894千円		
	財源内訳	① 国庫補助金														
		② 県補助金														
		③ 起債														
		④ その他														
		⑤ 一般財源			23,931		23,751		22,894		22,894		22,894		22,894	
12 活動一単位当たりのコスト	6.9千円			6.9千円												

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	特別支援教育支援員の資質や能力向上のための研修を充実する。また、校内における関係担当者間の連携や市教育委員会と学校との連携を密にした特別支援教育の充実を図る。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	発達障がい等を持つ児童・生徒が年々増加の傾向にあることから、個に応じた特別支援教育の重要性と現場教諭や保護者から特別支援教育支援員の増員配置の要望が強くなっている。但し、事業予算が全額市費であり、高額負担となることから、市財政事情を考慮すると、現状維持を選択せざるを得ない。特別支援教育の充実を図るうえで、特別支援学級への適正な就学指導等により、現在の人的体制の中で安定的な学校経営を目指していきたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
⑥移管	<input type="checkbox"/>		

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後ますます増加するであろう発達障がい等を持つ児童生徒への支援員の配置はありがたいが、支援学校と連携を深めながら指導をして頂きたい。 ・ 年々増加の傾向にある発達障がいを持つ児童生徒を適切に支援することはこれからも必要性が高くなっていくと思われる。色々な個性を持つ級友とともに学び合うことは、お互いに大切にしていかなければならないが、安定した雰囲気の中できちんと学習できる環境も確保していかなければならない。 ・ 発達障がい等のある児童生徒の適切な支援、そして安定した学級経営のためにも、今後は国、県の対応を要求していくことも必要になってくると考える。 ・ 支援員と保護者間のトラブルを避けるためにも、更なる研修の充実、定例会議の開催、サポートマニュアルの作成等を行い、児童生徒の障がいに適した支援をお願いしたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
<p>発達障がい等のある児童・生徒は年々増加傾向にあり、一人ひとりに応じた特別支援教育の必要性が増している。このような状況の中、支援員に対する学校の期待も高まっており、今後も支援員の数を確保するとともに研修等でのスキルアップを図りながら、より充実した特別支援教育を目指して継続しなければならない事業である。</p>						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	食育推進事業											
2 担当部課名	学校教育課						担当者名			—		
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称				施策	コード	名称			
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし					2	学校教育の充実			
4 誰のために行うか〔受益者〕	小中学校児童・生徒											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	今日の子どもたちの食生活を取り巻く状況は、社会情勢の変化等に伴い、偏った栄養摂取や孤食、あるいは朝食欠食など、さまざまな問題が多面的に指摘されており、肥満や高血圧などの生活習慣病の若年化傾向が憂慮される状況にある。成長期にある子どもへの食育を推進することで、健やかに生きるための基礎を培い、食への感謝の心を育てながら、食事の重要性や食文化への理解を深める。											
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	学校の食育推進について中心的な役割を果たす栄養教諭による、給食時間の学校訪問や食育に関する授業の実施。また、家庭や地域との連携といった観点から試食を通じた食育の推進や、双方の情報交換ができるように工夫した「ふるさと球磨さんだより」「給食だより」の発行。平成24年度は合わせて16回の発行回数である。栄養教諭の派遣については、平成24年度も年間活用計画に基づき実施し、年間で81時数の実績を上げている。											
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	栄養教諭の派遣実績については、実施時数、予定時数に対する実施率とも前年度を上回っており、成果指標についてもわずかではあるが、前年度を上回った実績となった。											
8 活動指標	指標名			単位	説明				目標値の設定内容			
	栄養教諭の派遣回数(時数)			h	市内全校を対象に規則正しい食習慣の指導を目的とした食育に関する派遣回数				人吉市食育推進委員会での栄養教諭等活用計画			
9 成果指標	毎朝朝食を食べる小中学生			%	毎朝朝食を食べる小中学生の割合				市健康増進計画では毎朝朝食を食べる割合が小学生は85%、中学生は86%以上が目標。			
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度				
		実績値	74	67	98	98	98	98				
		<達成度>	65.3	81.0	—	—	—	—				
	(2) 成果指標	目標値	<88.24%>	<120.90%>	—	—	—	—				
		実績値	86	86	86	86	86	86				
		<達成度>	82.1	82.3	—	—	—	—				
		<95.41%>	<95.64%>	—	—	—	—					
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～											
	総事業費											
	千円											
	合計		0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
③ 起債												
④ その他												
⑤ 一般財源		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12 活動一単位当たりのコスト			0.0千円	0.0千円								

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	栄養教諭の派遣について、学校給食記念月間の1月に集中して学校からの依頼があるため、栄養教諭に負担がかかっていたが、1月の活用集中については、平成23年度比-0.3hとなり、前年度とほぼ同時数となっている。今後も派遣の実施時期や実施時数等について学校との連携を図りながら、学校給食を「生きた教材」と捉え、栄養教諭の専門的な知識を活用することで、更なる実績値の向上を目指す。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもたちに、より健全な食生活や食事のマナーが身に付き、そして食べ物に対する有り難さや、作ってくれる人に対して感謝する心を養う。そういったことを全て含めて、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組んでいくことが重要となっている。そのため、今後も栄養教諭の派遣制度を活用し、食に関する指導のより一層の充実を図ることとする。
	②現状維持	<input type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校栄養士が比較的手の空いた時間(午後の時間)を活用し、積極的に学校に出向き、食育についての指導をしてほしい。 ・ 学校での食育の範囲は、食事のマナー、食べ物への感謝、知識が主になるのではないかと考える。偏った栄養摂取、孤食、朝食欠食は家庭の生活に起因することが多いのではないかと考える。家庭、子どもを対象にした、実践を伴う形で行う方法はないものか。 ・ 保護者の食育に対する意欲を向上させるために、保護者向けの栄養教諭の講話等も考えて頂き、学校だけでなく家庭でも積極的に取り組むことが大切だと思う。 ・ 栄養教諭の限られた時間での指導は困難ではないか。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
心身ともに著しい発達期にある児童生徒に対し、健やかな成長のためには食に関する正しい知識と望ましい食習慣の形成が極めて重要である。食への関心を高めるために本事業は欠かせないものであり、栄養教諭による食育指導や講話については、継続して実施する必要がある。また学校ばかりでなく、家庭での積極的な食育の啓発が必要である。						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	公民館事業											
2 担当部課名	社会教育課					担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				1	社会教育の推進				
4 誰のために行うか〔受益者〕	全市民											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	あらゆる世代の学びを支援するため、公民館(コミュニティセンター)を生涯学習の拠点として、講座を開設し、そこでの学習成果や人材を地域・学校・家庭等で生かせるようにする。											
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	各校区公民館の館長と公民館指導員(公民館指導員の配置がない校区については、社会教育課職員)が地域の中心となって、地域の要望等を取り入れながら、生涯学習講座の企画を行い、すべての校区あわせて49の講座を年間12回実施している。あわせて、約1,000人の定員に対し、7割強の充足率である。 平成24年度の申込状況による見直しなどを行い、7講座を廃止または自主講座へ移行し、代わって新たに7講座を設け、内容の更新を図っている。											
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	委託料の削減を講座開設数や開講回数等の削減に結び付けないよう工夫しながら、かつ講座の内容も見直しながら、多様な学習機会の提供に努めている。											
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容					
	講座数		講座	定期講座(成人・子ども)開設数			各講座年間12回程度開催できるよう、講座数を設定					
9 成果指標	受講生数		人	定期講座受講生数			会場、講座内容により適正な定員を設定					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度				
		実績値	49	49	49	49	49	49				
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—				
	(2) 成果指標	目標値	1,046	1,016	1,027	1,027	1,027	1,027				
		実績値	793	786	—	—	—	—				
		<達成度>	<75.81%>	<77.36%>	—	—	—	—				
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H23 ~ H28		事業委託	4,206	事業委託	4,307	事業委託	4,170	事業委託	4,170	事業委託	4,170
	総事業費		運営補助	100								
	25,293 千円											
	合計			4,306千円		4,307千円		4,170千円		4,170千円		4,170千円
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
③ 起債												
④ その他												
⑤ 一般財源			4,306		4,307		4,170		4,170		4,170	
12 活動一単位当たりのコスト			87.9千円	87.9千円								

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	厳しい財政状況のもと、講座内容(講座数、実施回数等)を下げることなく、住民に学習機会を提供していく。あわせて、住民のニーズ等に応じた講座を企画し、その成果を地域に生かしてもらうようにする。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	これまで公民館で実施してきた生涯学習講座は、「コミセン講座」の名称で住民に親しまれている。今後も引き続き、講座を実施することで、地域住民の学習意欲に応えるとともに、地域住民の連携と地域の活性化につなげたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見

- 生涯学習講座の充足率が低い講座においては、公民館同士で調整を図り合同で実施したらどうか。厳しい財政は分かるが、講座の実施回数を減らさないで済むような予算措置をお願いしたい。
- 公民館(コミセン)は身近な学習・交流の場として地域住民の方に活用されている。特に生涯学習講座はこれまでも多くの方々に参加されてきた。これからは高齢者が多くなってくるので、学びたい気持ちはあっても参加することが困難になっていく傾向にある。講座内容を工夫して楽しい学びと交流の場になるように、関係機関で情報を集め講座を設定して頂きたい。また、講座の時間帯(昼・夜)によって受講人数に増減がある。
- 子ども講座については校区外でも参加できるようになったが、参加者が少ないと思う。各校区公民館長も内容、講師等の人選にご苦労されていることと思う。講座の企画指導を行い、魅力ある子ども講座をお願いしたい。講座募集は学校だけをお願いするのではなく、校区子ども会の総会時等でも周知を促し受講者の増員に努めて頂きたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	4	A

多様な学習機会の提供のために、地域住民にとって本事業は楽しい学びと交流の場、そして身近で親しみやすいものであることが求められる。類似する講座との統合など、校区の枠を超えた、より効果的で効率的な運営を目指しながら、生きがいを持って生活できる学習環境の整備を図っていくことが必要である。

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	人吉駅伝大会											
2 担当部課名	社会教育課				担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				5	スポーツの振興				
4 誰のために行うか〔受益者〕	中学生以上の市民											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	スポーツの振興、健康づくり、親睦を深める観点等から120チーム規模での事業を継続したい。											
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	例年、12月第2日曜日に西瀬小学校をメイン会場として開催している。また平成24年度は中学男子・高校男子・女子・一般の4部門で132チーム(前年度117チーム)が出場している。1区から6区までの20.14kmである。											
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	記録集計の遅れ・誤りを防止するため、各中継所へのスタッフ増員を行っている。											
8 活動指標	指標名			単位	説明			目標値の設定内容				
	大会案内			回	郵送・新聞・広報・HPでのPR回数			申込締切まで4回				
9 成果指標	出場チーム数			チーム	出場チーム数			平成29年度まで120チーム維持				
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度				
		実績値	4	4	4	4	4	4	4	4		
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	120	120	120	120	120	120	120	120		
		実績値	117	132	—	—	—	—	—	—		
		<達成度>	<97.50%>	<110.00%>	—	—	—	—	—	—		
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	H23 ~ H28		運営費	415	運営費	447	運営費	476	運営費	476	運営費	476
	総事業費											
	2,766 千円											
	合計		415千円		447千円		476千円		476千円		476千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源		415		447		476		476		476
12 活動一単位当たりのコスト	103.8千円		111.8千円									

平成25年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	各中継所での計測業務、集計業務の迅速性、正確性を旨したい。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	健康づくりやスポーツに親しむ機会を提供するために実施する事業である。人吉市の冬の風物詩として定着しているため、今後とも学校、事業所、グループ等の安定したエントリーを期待するため大会PRに力を入れていきたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> 参加チームが増えていることはありがたいことだと思う。今後においては、表彰、閉会式までの時間がかかりすぎるとの声が多いので、迅速、正確な集計業務ができるように努めてほしい。 25年度は60回目を迎える歴史ある駅伝となっている。参加チームが増えていることは、この大会の意義が定着してきたことの証明である。大会なので正確な記録の集計が求められる。また、大会PRに力を入れ、安全のためにもスタッフの増員に努めてほしい。 前年度に比べ15チームの参加増大は高い評価に値する。これからも大会PRに力を入れチーム数の確保に努めるとともに、市民への応援参加も呼び掛けて頂きたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	3	A	
<p>今年度第60回を迎える伝統ある大会である。近年は参加者層も幅広くチーム数も増え、本市のスポーツ振興の一事業として大変有意義な大会となっている。今後も積極的にPRを行い、計測・集計業務の迅速性、正確性の確保に努め、官民一体で効率的な運営を目指しながら、更に市民に親しまれる大会となるよう努めていく必要がある。</p>						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	史跡人吉城跡保存整備事業													
2 担当部課名	歴史遺産課					担当者名		—						
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称						
		2	美しき相良700年の歴史都市ひとよし				4	歴史遺産の保存と活用						
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民及び史跡来訪者、観光客													
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらに市民が積極的に活用できる史跡づくりを目指す。													
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	昭和36年の国史跡指定以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年度の『史跡人吉城跡保存管理計画書』策定以降は、計画書に基づきながら整備を行ってきた。今後は、平成22年度に策定された『史跡人吉城跡保存管理計画書第2版』に基づきながら、緊急性・優位性の高い事業を優先して実施していく。平成24年度は、緊急性が高いと判断される大手門跡南側石垣の保存修理事業を実施。平成25年度の石垣工事に向け、発掘調査や石垣撮影図化業務委託等を行った。													
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	平成24年度は、平成22年度策定の「保存管理計画書第2版」に基づき、崩落の危険性がある大手門跡南側石垣の保存修理事業を優先して取りかかった。													
8 活動指標	指標名			単位	説明			目標値の設定内容						
	整備進捗率			千円	平成21年度までの1,199,946千円を基準として年度毎の実績額を加算			総事業費1,500,000千円						
9 成果指標	人吉城跡来訪者数			人	平成19年度～前年度までの人吉城歴史館入館者数平均値を100%として			平成19年度～平成23年度までの入館者数平均 14,921人						
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)	H24年度(実績)	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度						
		実績値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000						
		<達成度>	1,231,312	1,240,044	—	—	—	—						
	(2) 成果指標	目標値	<82.09%>	<82.67%>	—	—	—							
		実績値	15,274	14,921	15,540	15,540	15,540	15,540						
		<達成度>	13,508	18,638	—	—	—							
		<88.44%>	<124.91%>	—	—	—								
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費		
	～		整備関連	18,225	整備関連	8,732	整備関連	4,460	整備関連	9,370	整備関連	4,730	整備関連	50,542
	総事業費				史跡購入	18,302								
	千円													
	合計		18,225千円		8,732千円		22,762千円		9,370千円		4,730千円		50,542千円	
	財源内訳	① 国庫補助金	8,998		4,350		16,871		4,685		2,365		25,271	
		② 県補助金	899		0		0						2,527	
		③ 起債												
		④ その他												
		⑤ 一般財源	8,328		4,382		5,891		4,685		2,365		22,744	
12 活動一単位当たりのコスト	0.0千円		0.0千円											

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	阻害要因はなく、今後も修理修復・整備を主として緊急性・必要性の高い事業が複数待機している状況であり、継続して鋭意事業を展開していく。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	史跡人吉城に関連する事業としては、これまでも昭和36年の国指定時から、継続して緊急性・優位性の高い事業を実施してきており、今後も引き続き事業を展開していくことが望ましい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後においても計画的に進めてほしい。25年度で市役所の用地買収も終了するようであり、いよいよ市役所移転を含めた計画が始まるのではないかと期待している。 ・ 永年風雨にさらされている歴史のある城跡だけに、常に保存修理の必然性が高い。これからも人吉城を訪れる方が安心して相良700年の歴史に思いを馳せることができることを願う。 ・ 成果指標が資料館入館者ではないように思うので、次年度は検討してほしい。城跡は、国宝青井阿蘇神社とともに人吉市の象徴と考える。事業の継続をお願いするとともに、歴史館を併せてPR等にも力を入れて頂きたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
<p>人吉城跡は市を代表する重要な歴史遺産である。今後も緊急性・優先性の高い保存修理事業を計画的に進め、観光客にとって魅力ある、そして市民にとって心の拠りどころとなる史跡づくりを目指して整備を継続していく必要がある。</p>						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	人吉城歴史館特別展											
2 担当部課名	歴史遺産課					担当者名			—			
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史都市ひとよし				4	歴史遺産の保存と活用				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、来訪者											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	特別展の充実や講座の開催等により、人吉城歴史館を歴史文化の発信源とし、加えて人吉球磨の歴史文化を学び知るための拠点とする。											
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	平成17年度の開館以来、人吉城はもとより人吉・球磨の歴史文化を発信する様々な取り組みを行っている。常設展示については、随時解説を加えたり、市内小中学生の総合学習等にも活用してもらい、地域の歴史文化のより良い理解を促している。特別展示室においては、春と秋の2回の特別展を実施し、職員の研鑽を深めながらリピーターの確保と集客に努めている。春季は「願成寺の至宝」、秋季は「日米をじゅぐりっと駆けた歯科医 一井正典」の特別展を実施した。平成24年度の入館者数は18,638人で、前年度より増加している。											
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	お城まつりに合わせた歴史館の無料開放や、ポスター・チラシの掲示、民間団体の関連イベント開催などで周知が図られたことにより、入館者数が前年度を大幅に上回った。											
8 活動指標	指標名			単位	説明			目標値の設定内容				
	特別展・企画展実施回数			回	特別展・企画展の年度開催予定数			年度当初開催予定数				
9 成果指標	特別展入館者数			人	前年度特別展入館者数1日の平均値を100%として			前年度入館者数平均(一日)46人				
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
		実績値	2	2	—	—	—	—	—	—	—	
		<達成度>	<100.00%>	<100.00%>	—	—	—	—	—	—	—	
	(2) 成果指標	目標値	33	46	68	68	68	68	68	68	68	
		実績値	46	68	—	—	—	—	—	—	—	
		<達成度>	<139.39%>	<147.83%>	—	—	—	—	—	—	—	
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	～		特別展	745	特別展	744	特別展	999	特別展	999	特別展	999
	総事業費		啓発	189	啓発	189	啓発	189	啓発	189	啓発	189
	千円											
	合計		934千円		933千円		1,188千円		1,188千円		1,188千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源		934		933		1,188		1,188		1,188
12 活動一単位当たりのコスト	467.0千円		466.5千円									

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	市内や周辺町村に博物館相当施設がない中、近年では、観光客の来館が目立ち、入館者の増加につながっている。一方で、人吉城跡ガイダンス施設として、市民の興味関心を引き付けることが難しくなりつつある。開館から7年を経過し、平成27年12月に開館10周年となることを見据え、常設展示の全面リニューアル・老朽化した館内設備の更新などとともに、特別展の企画充実を含めた将来的な計画を策定する時期に来ている。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	現状での人員では、特別展に専念できる時間的余裕がなく、充実した内容にすることが厳しい状況にある。まずは現状の予算規模でできるだけのことを実施しながら、施設の独立など今後の方針を模索することとしている。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史館の入館者が増加していることは担当課の努力のおかげであり、今後においても色々の展示を通して市民が余り知らなかったことを教えてほしい。また、旅行業者の協力を得ながら歴史館の宣伝をして頂きたい。 ・ お城まつり等での歴史館の親子無料開放はよい企画と考える。本施設は古文書の学習会等で歴史を学ぶ場にもなっていて、歴史館が身近なものになってきていると思われる。研修室の活用も更に工夫してほしい。 ・ 毎年の特別展を楽しみにされている市民の方も数多くおられる。学校や各種団体に呼びかけをし、更なる入館者の増大に努めて頂きたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	4	4	A	
<p>春・秋の特別展は、歴史文化遺産への関心を高めるための効果的な施策であり、入館者の増加に繋がっている。24年度は地元出身の偉人をテーマにするなど話題性を充実させるための工夫がなされており、地元住民にも広く歴史館の魅力を伝えることができた。今後もリピーターの確保と集客のために、常設展示のリニューアルや館内設備の更新を進めながら、更なる魅力アップに努める必要がある。</p>						

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	犬童球溪顕彰音楽祭											
2 担当部課名	市民文化課				担当者名		—					
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称				
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				3	市民芸術・文化の振興と継承				
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民、及び音楽祭出場者、並びに観客											
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	音楽祭を通じて、人吉が生んだ音楽家・犬童球溪先生を顕彰し、かつ、人吉市を「音楽のまち」としてPRを図るとともに、この音楽祭に参加する大人や子供の演奏のレベルアップに取り組み、街中に音楽が響き渡るまちづくりを目指し、人吉市の知名度を高める。											
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	<p>1. 個人コンクール: 小中高校生による独奏・独唱のコンクール。8月の予選には80人の申込があり、38人が本選に臨んだ。</p> <p>2. 学校発表会: 人吉球磨郡内の小中高校生による発表会。37校、1,613人が一堂に会し、日頃の練習成果を披露した。</p> <p>3. 音楽の夕べ: 市内音楽団体発表と個人コンクール受賞者の招聘演奏を行った。また、ALT及び一般参加者による「旅愁」の原曲を英語で披露。また、「大庭照子」と「DOYO組」のコンサートは、県内外からの来訪者も多く見受けられ、非常に好評であった。</p>											
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	平成24年度は、第66回音楽祭となり、個人コンクール、碑前祭、学校発表の部は従来どおりに行った。「音楽の夕べ」については、市内合唱4団体が一致団結し「犬童球溪合唱団」を結成し、「犬童球溪合唱団が歌う日本の情景」をテーマに、日本各地の唱歌や民謡、また混声四部合唱による壮大な曲などを披露した。ゲストコンサートとのコラボレーションも行い、方向性のみでなく幅広い手法を見出すことができた。											
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容					
	音楽祭への参加者、及び集客のためのPR活動		件	参加者・観客の集客活動件数			広報車1日、広報誌・HP・新聞等の掲載を各々1件とカウントする					
9 成果指標	出場者及び観客数		人	音楽祭参加者と観客数			過去3年間の平均値					
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	20	20	20	20	20	20	20	20		
		実績値	30	30	—	—	—	—	—	—		
		<達成度>	<150.00%>	<150.00%>	—	—	—	—	—	—		
	(2) 成果指標	目標値	3,450	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200		
		実績値	3,460	3,020	—	—	—	—	—	—		
		<達成度>	<100.29%>	<94.38%>	—	—	—	—	—	—		
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費
	S22 ~		音楽祭	4,846	音楽祭	3,833	音楽祭	4,690	音楽祭	5,138	音楽祭	5,138
	総事業費											
	千円											
	合計		4,846千円		3,833千円		4,690千円		5,138千円		5,138千円	
	財源内訳	① 国庫補助金										
		② 県補助金										
		③ 起債										
		④ その他										
		⑤ 一般財源		4,846		3,833		4,690		5,138		5,138
12 活動一単位当たりのコスト	161.5千円		127.8千円									

平成25年度以降の改善13等を踏まえた事業の内容	現在、個人コンクールの参加状況が、学校行事、受験勉強等の影響で減少傾向にあり、音楽祭の意義を周知しながら、参加者の確保に努めたい。また、「音楽の夕べ」については、「犬童球溪合唱団」を核に、テーマを設定し、市民が楽しめる温味のある、人吉ならではの「音楽の夕べ」としたい。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	この音楽祭は、これまでの長きにわたり、犬童球溪先生の偉業を顕彰する目的で、音楽を通じて語り継がれている事業である。個人コンクールについては、これまで著名な音楽家を輩出しているものの、現在、参加者は学校行事・受験等で減少の傾向にある。今後は、特に中学、高校生の参加を呼びかける必要性が生じている。また、5年に一度、記念音楽祭を開催しており、ゲストの報償費・手数料が若干増えるものと見込まれる。しかしながら、今後、この音楽祭は、犬童球溪先生の偉業を発信するとともに、人吉市が音楽を通してのまちづくりを目指すことも可能であり、人吉市の秋の風物詩として、後世に語り継がれる事業としたい。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 24年度の「音楽の夕べ」は入場者も多く好評であったことに思う。特に音楽の夕べは若い方から年配の方までが楽しめるような内容にしてほしい。 ・ 小中高生による独奏、独唱のコンクール、人吉球磨郡内の小中高生による発表会は、子ども達が音楽に親しむよい機会になっている。 ・ 「音楽の夕べ」のポスター、チラシ等は一般市民の目に触れるように、また入場整理券もたくさんの人の手に渡るように工夫してほしい。無料であっても入場整理券を持っていないと来場しにくいところがある。 ・ コンクールの参加者の減少は少子化も影響があると思われるが、ピアノ教室、音楽教室への呼びかけやメディア等も利用したPR活動に力を入れて参加者の確保に努めて頂きたい。「音楽の夕べ」は市民の方々も楽しみにしている音楽祭だと思う。企画等にご尽力頂き、出演者も観客も楽しめる音楽祭になるようお願いしたい。

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	3	3	A
<p>地域住民に定着した、上質でありながら住民に親しみやすい、伝統ある音楽祭となっている。若手音楽家の育成を図ること、また児童生徒や地元合唱団の発表の場としても貴重である。今後も市民参画型の事業としてPRを強化し、企画運営に工夫を重ねながら、出場者数と観客数の増加を図っていく必要がある。また、「音楽の夕べ」を楽しみにしている市民も多いことから、市民誰もが足を運びたいような企画が求められる。</p>					

点検評価シート(評価対象:平成24年度事業)

1 事業名	移動図書館巡回事業														
2 担当部課名	市民文化課					担当者名		—							
3 総合計画における政策体系	政策	コード	名称			施策	コード	名称							
		2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし				1	社会教育の推進							
4 誰のために行うか〔受益者〕	市民														
5 どのような状態にしたいか〔意図・ねらい・コンセプト〕	幼児から高齢者に至るまで、図書館に足を運ぶことなく、学校・園・自宅周辺等、身近な場所で読書に親しんでいただけるよう約1,000冊の図書を搭載し、定期的に巡回している。貸出・返却業務の他、各施設の図書の充実支援及び読書活動の支援に努め、図書館の利用促進、生涯学習の推進を図る。														
6 事業の実施内容(平成24年度の進捗含む)	全37箇所(保育園・幼稚園21、小中学校10、コミセン等6)の施設(ステーション)を巡回している。各施設とも、概ね3週間に1回の割合で巡回しているため、1年間では、合計14回の巡回実施となる。実施については、施設間の移動時間が必要となるため、一つの施設での滞在時間は最大40分程度である。この時間内に、貸出資料の展示及び返却・貸出業務を行っている。平成24年度の実績は全37か所で391回実施し、26,105冊の利用があった。 *雨天等により中止となる場合がある。														
7 平成24年度に実施した方向性からの改善	雨天時における代替場所の確保及び順延日時について、各施設と話し合い、効率的な運営ができるよう改善に努めた。また、破損・紛失等については、修理及び弁償請求を通して資料の確保に努めた。														
8 活動指標	指標名		単位	説明			目標値の設定内容								
	移動図書館実施回数		回	移動図書館を年間実施できた回数			予定回数の全回実施を目標								
9 成果指標	図書貸し出し冊数(移動図書分)		冊	移動図書館で利用された冊数			平成21-23年度平均値の約5%増を目標								
10 指標値	(1) 活動指標	目標値	H23年度(実績)		H24年度(実績)		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		
		実績値	518		518		518		518		518		518		
		<達成度>	393		391		—		—		—		—		
	(2) 成果指標	目標値	<75.87%>		<75.48%>		—		—		—		—		
		実績値	24,500		24,800		26,200		26,200		26,200		26,200		
		<達成度>	23,785		26,105		—		—		—		—		
		<97.08%>		<105.26%>		—		—		—		—			
11 事業年次計画	事業の期間		事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	事業内容	事業費	
	～		人件費	1,415	人件費	1,498	人件費	1,506	人件費	1,506	人件費	1,506	人件費	1,506	
	総事業費		需用費	81	需用費	72	需用費	102	需用費	102	需用費	102	需用費	102	
			図書費	472	図書費	473	図書費	450	図書費	450	図書費	450	図書費	450	
	合計		1,968千円		2,043千円		2,058千円		2,058千円		2,058千円		2,058千円		
	財源内訳	① 国庫補助金													
		② 県補助金													
		③ 起債													
		④ その他													
		⑤ 一般財源		1,968		2,043		2,058		2,058		2,058		2,058	
	12 活動一単位当たりのコスト	5.0千円		5.2千円											

平成25年度以降の改善 13等を踏まえた事業の内容	25年度以降も各施設(ステーション)ごとに、詳細な打ち合わせを行い、雨天時での代替場所の確保、貸出・返却方法の改善、施設間移動時間の短縮を図る等、効率的な移動図書館運営に取り組んでいる。また、システムの改善により、移動図書館車内において貸出カードの登録・希望圖書のリクエスト受付及び貸出・返却処理も可能となり、サービスの範囲が広がった。その他、本の破損は修理による再生、本の紛失は弁償請求を確実にし、図書の本保存・提供に力を入れている。		
14 平成26年度以降の事業の方向性	方向性	チェック	左の「方向性」を選択した理由
	①拡大	<input type="checkbox"/>	保育園・幼稚園・小中学校への移動図書館巡回は、読書の機会を増やし、読書に親しんでもらうという点からも望ましい事業であるとする。それは、移動図書館による図書の貸し出しは、子どもたちが自施設では所蔵していない多種多様な図書に触れられる恰好の機会であり、子どもたちの読書環境及び読書意欲を向上させる効果が期待できるからである。今後、コミセンや図書館から離れた遠隔地への巡回、社会人向けの資料を充実させる等、業務全般に工夫を凝らし、充実した実施体制を継続していくことが必要であるとする。
	②現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③縮小	<input type="checkbox"/>	
	④廃止	<input type="checkbox"/>	
	⑤完了	<input type="checkbox"/>	
	⑥移管	<input type="checkbox"/>	

学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動図書館車も巡回の時間を知らない場所もあるのではないかと。また、せっかく巡回に行っても利用がないコミセンにおいては中止も含めて検討してもよいのではないかと。 ・ 巡回事業をすることで読書をする人達が増えていることは一定の評価ができる。 ・ コミセンでの利用が少ないということなので、巡回日を前もって町内に連絡してほしい。 ・ 子どもたちには移動図書館は人気であるが、高齢者の方々にはまだまだ周知されていないように思う。コミセンも巡回しているということも市民の方々は知らないのではないかと。広報や回覧板等を活用しPRして頂きたい。 ・ タクシーを利用される年配の方々も多くいらっしゃると思う。そのような方々も本を読みたいと思われるかもしれないので、校区社協にもアドバイスを頂き、多くの方が利用できるようにお願いしたい。
----------	---

事業の評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	A	
幅広い年齢層で気軽に図書を楽しむことができる、利便性の高い事業である。蔵書の効率的な活用と、地域住民の読書意欲を高めるためにも有効であり、運営において今後は利用状況を分析しながら合理化を図り、経済性・効率性も考慮しながら継続していく必要がある。						

【教育方針】

《基本理念》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくりを進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力(人として生きる力)を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。

＜教育目標＞

- I 生きがいを持って生活できる学習環境の整備
市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツ等に親しむことを通して、生きがいを持って生活できる学習環境の整備を推進します。
- II 家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実
家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みを推進するとともに、学校、家庭、地域社会が連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。
- III 「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育の推進
子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基礎となる「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育を推進します。
- IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備
豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。

各課の努力目標

<p>[教育総務課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全で良好な教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心・快適な教育環境の整備促進 ○災害時避難場所としての安全確保 学校施設の有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ○休校施設の利活用 ○学校林の廃止に向けた検討・協議 児童生徒の安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ○子ども王国保安官による見守り活動の支援 ○地域ぐるみでの子どもの安全確保 学校予算執行の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ○コスト意識の徹底と効率的な予算執行の推進 教育目標、各具体的施策の実効ある推進 <ul style="list-style-type: none"> ○教育振興基本計画の推進 ○教育委員会の活発な議論の機会確保 ○教育委員会の事務に関する点検評価の充実 利用しやすい奨学金制度の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○経済的理由による就学困難者に対して利用しやすい奨学金の提供 	<p>[学校教育課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 「確かな学力」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○学力3要素の具体的実践 ①「基礎的・基本的な知識技能」の習得 ②①を活用して、課題解決に必要な「思考力、判断力、表現力等」の育成 ③「主体的に学習に取り組む態度」の育成 【具体的実践】 ・熊本型授業の質を高める授業づくり ・言語活動の適切な位置づけ ・「ゆーチャレンジ」問題、結果等の活用(教材開発等) ・ICT機器の効果的活用(指導方法の工夫) ・学習指導と学習評価の一体化 ・主体的な学習活動を支える学校図書館の整備・充実と読書の習慣化 ・家庭学習習慣の定着 ※各パワーアップ教室(基礎・基本)、花まる教室(思考力向上)等との連携・利用 「豊かな心」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○「命を大切にすること」「自然に対する畏敬の念」「自分を大切にすること」「郷土を愛する心」等の醸成と体験活動の工夫 ○「学ぶこと・働くこと・生きること」の意義を実感できる教育活動の展開 ○「熊本の心」等の活用と「心に響く道徳の時間」の実践・充実 ○人間関係・信頼関係を基盤とした生徒指導の実践 ○自己有用感を育む心の居場所(学校・学級)づくり 「健やかな体」の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○授業の工夫・改善と教育活動全体をととした体力向上・健康教育の取組 ○危機管理体制と健康・安全・防災教育の充実 ○望ましい食習慣の育成 ○指針に沿った魅力ある運動部活動の推進 	<p>[社会教育課]</p> <p>(生涯学習)</p> <ol style="list-style-type: none"> 学習機会と情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○成人、子どもを対象とした講座の効率的運用 ○公民館や学校・社会教育関連施設・機関・団体との連携推進 ○学習成果を活用できる場・機会の提供と学習人材バンクの構築の取り組み ○広報誌やホームページ等を活用した情報提供の推進 校区公民館活動の支援と連携 <ul style="list-style-type: none"> ○公民館(コミュニティセンター)事業の充実 ○公民館運営能力向上のための研修機会の充実 家庭教育力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育に関する情報提供及び学習や相談の機会の提供と充実 ○子育てに関する支援体制の構築 学校・家庭・地域社会の連携と教育力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○校区公民館を核に、地域と一体になった子どもの健全育成 ○学校支援地域本部事業等、地域で学校運営を支援する体制の整備とその普及 社会教育施設の整備・充実 <ul style="list-style-type: none"> ○公民館(コミュニティセンター)施設の整備・充実 ○その他の社会教育施設の整備充実と利用促進 社会教育関係団体への支援及び連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○各団体との連携強化と自主活動の支援 社会人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動や研修会・講座・学級等を通じた人権教育の推進 社会教育委員活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ○地域における社会教育委員の主体的な活動の推進 ○教育活動における社会教育委員会議の積極的な活用 <p>(スポーツ振興)</p> <ol style="list-style-type: none"> 市民の健康及び体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○市民の健康増進を図るための各種スポーツ教室等の開催 ○体力づくり事業の実施及び市民体育祭の充実 生涯スポーツの普及・振興 <ul style="list-style-type: none"> ○市民誰もが取り組めるスポーツ・レクリエーションの普及・振興 ○市民のスポーツニーズに対応するための指導体制の充実 ○総合型地域スポーツクラブの普及・活動支援と学校運動部活動との連携についての調査・研究 スポーツ団体の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ団体の組織強化と指導者の育成 ○NPO法人人吉市体育協会を始めとした各種団体による研修会、講習会やスポーツ教室開催等の支援 競技人口の増加と競技力向上 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ少年団の育成と活動活性化 スポーツを通じた交流推進 <ul style="list-style-type: none"> ○行政・市民・地域が連携した各種スポーツイベントの開催及び誘致 ○ひとよし春風マラソン支援体制の充実 スポーツ施設整備と利用推進 <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者の効率的、効果的な施設の管理運営 ○既存施設の整備と機能充実 ○多目的運動広場の整備に向けた取り組みの推進 	<p>[歴史遺産課]</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域力となる歴史遺産群の保存活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりのシンボル、人吉城の整備の推進 ○楽しく安全に見学できる大村横穴群の保存整備の推進 ○新たな歴史遺産の調査による指定・登録の推進 ○国宝・重要文化財等建造物の保存活用支援 ○文化財広域連携による「相良歴史回廊」の推進 教育力・観光力となる人吉城歴史館運営 <ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある常設展示・企画展示の推進 ○学校と連携した児童・生徒の歴史学習の拠点づくり ○市民歴史学習の推進 ○人吉球磨の歴史遺産情報の発信基地づくり ○地域観光との連携推進 <p>[市民文化課]</p> <ol style="list-style-type: none"> カルチャーパレス施設運営の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○快適で安全な利用のための施設環境の維持保全 ○来館者へのきめ細やかなサービスの提供 市民文化力の創造 <ul style="list-style-type: none"> ○郷土愛を育む文人偉人顕彰事業の推進と若手音楽家等の育成(犬童球磨顕彰音楽祭等) ○市民文化・芸術活動の創出支援と発表の場の提供(人吉球磨総合美展、人吉文化祭等) ○自主文化事業等を通じた文化芸術の振興と地域文化の醸成(のど自慢、球磨民謡大会、球磨川舟唄等) 図書館事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○図書館利用者に対するサービスの充実 ○子ども読書活動の推進 ○郷土資料をはじめ、幅広い図書館資料の調査・収集・充実 ○移動図書館による図書利用の促進 ○広報活動による最新情報の提供 ○図書館の情報化・システム化の推進 ○読書ボランティア・関係機関等との連携・協力
---	---	--	---